



【「史跡めぐり」ノススメ～松阪市にある国史跡の紹介～】

2月7日、松坂城跡が国史跡に指定され、新聞やテレビでも報道されました。「史跡」とは、古墳、城跡などの遺跡のうち、歴史上または学術上価値の高いものについて、国や地方公共団体（都道府県、区市町村）が指定したものをいいます。これまで松坂城跡は、三重県の指定する史跡でしたが、国からその価値を認められた結果、改めて国の史跡に指定されたのです。

ところで、みなさんは松阪市に国史跡がいくつあるか、ご存知でしょうか？調べてみると、次の8ヶ所が国史跡（1は特別史跡）に指定されています。

- 1 本居宣長旧宅 同 宅跡（旧宅：殿町・宅跡：魚町）大正11年指定
昭和28年特別史跡指定 昭和42年追加指定
- 2 宝塚古墳（宝塚町）昭和7年指定 昭和53年追加指定
- 3 本居宣長墓〔山室山〕（山室町）昭和11年指定
- 4 本居宣長墓〔樹敬寺〕附 本居春庭墓（新町）昭和11年指定
- 5 向山古墳（小野町・嬉野上野町・嬉野下之庄町）昭和50年指定
- 6 阿坂城跡 附 高城跡 枳城跡（大阿坂町・小阿坂町）昭和57年指定
- 7 天白遺跡（嬉野釜生田町）平成12年指定
- 8 松坂城跡（殿町）平成23年指定

このようにみても、本居宣長さんに関する史跡が多いことがわかりますね。また、遺跡でも古墳・城跡のように現在でも形が残っているものが指定されていますね。ほとんどの史跡は、整備されて誰でも見学できるようになっています。嬉野にある天白遺跡は、縄文時代の「マツリ」の場を再現した整備が終わり、まもなく公開されます。

これから気候の良い日が続くと思います。みなさんも、休日を利用して市内の史跡めぐりの小さな旅をしてみたいかがでしょうか？（担当）



整備された国史跡 天白遺跡（嬉野釜生田町）

【「むかし」との出会い】

こうなんのはる とほく 江南春 杜牧
せんりうぐいすな みどりくれないえい 千里鶯啼いて 緑紅に映ず
すいそんさんかく しゆき 水村山郭 酒旗の風
なんちよう しひやくはっしんじ たしょう ろうだい えんう 南朝 四百八十寺 多少の楼台 煙雨の中

（みわたすかぎりの春景色のなか、ウグイスは鳴き、若葉のみどりがあざやかな赤い色の花にはえる。水辺の村や山里で酒屋の旗は風にゆれ、南朝時代から続くたくさんの寺々の高い建物が春雨のなかにかすみわたる。）

このたびの東日本大震災で、大きな被害をうけられました皆さまに心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

春景色のなか、平成23年のあたらしい年度がはじまりました。

文化財センターでは、今年もみなさんに親しんでいただけるさまざまな企画や催しをお届けしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

ところで、文化財センターには、船形はにわ（重要文化財）などがある「はにわ館」やレンガ造りの「ギャラリー」以外に、たいせつな役割がもうひとつあります。それは、道路をつくったり建物などをたてるとき、地面の下にある昔の人たちの暮らしのあと（遺跡）や、その広がりなどを前もってしらべる（範囲確認調査、試掘調査）仕事です。そして、必要な範囲をきめて発掘調査（本調査）をおこない、そのままの状態でのこせるものは保存してひろくみなさんに見ていただけるようにします。どうしてもそれができないときは、うしなわれる遺跡からほりだされた実物（遺物）や、図面・写真などの記録を埋蔵文化財として保存・保管し、未来につたえるようにします。

みなさんの住んでいるところにも、土器やハニワのかけらなどが土のなかから顔をだしたり転がったりしていませんか。もしかするとそれは世紀の大発見につながる、みなさんと「むかし（埋蔵文化財）」とのラッキーな出会いになるかもしれません。



杜牧 晩唐（836～907）の詩人

（所長）

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 4月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円（18歳以下無料。） 月曜日、祝日の翌日は休館です。

- 第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ・前期企画展「大昔のくらし～地域の歴史をさぐる～」 4/16（土）～6/12（日）

【ギャラリー】 入場無料

- 第1ギャラリー ・NTTOB 趣味の作品展 4/8（金）～10（日）*10日は15時まで
- 第1・2・3ギャラリー ・公民館グループ第8回合同水墨画展 4/12（火）～17（日）*12日は午後から、17日は16時まで
- ・星野富弘花の詩画展 4/28（木）～5/4（祝）

開館時間：9時から17時（入館は16時30分まで）

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



バーコード読み取り
文化財センター情報